

単位互換提供科目一覧(平成29年度 前期)

富山短期大学

(履修願提出期間:4/3(月)~4/17(月) 授業期間:4/10(月)~7/29(土) 補講期間:7/22(土)、29(土) 試験期間:7/31(月)~8/4(金))

シラバス No.	(教養) [専門]	授業科目	担当教員	単位	配当 年次	曜日	時限	受入数	学部学科	備考
⑤-1	(教養)	現代社会と人間	樋口 康彦・ 高木 三郎	1	1・2	水	5	若干名	食物栄養学科、 幼児教育学科、 経営情報学科、 福祉学科	教養総合科目 講義科目
⑤-2	[専門]	教育心理学	樋口 康彦	2	1	水	2	10	食物栄養学科	教職科目 講義科目
⑤-3	[専門]	保育原理	石動 瑞代	2	1	金	1	若干名	幼児教育学科	講義科目
⑤-4	[専門]	児童家庭福祉	宮田 徹	2	1	月	4	若干名	幼児教育学科	講義科目
⑤-5	[専門]	保育の心理学 I	山川 賀世子	2	1	火 もしくは 水	火曜日は 3限、 水曜日は 4限	若干名	幼児教育学科	講義科目
⑤-6	[専門]	簿記演習 II	加納 輝尚	1	2	月	2	若干名	経営情報学科	演習科目
⑤-7	(教養)	ボランティア演習	関 好博	1	1・2	金	1	若干名	福祉学科	演習科目 3回の課外活動必須(試験日の前までに) ※所属先の大学・短大で、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険等に参加していることを確認の上、受講してほしい。

平成 29 年度 教養総合科目「現代社会と人間」

平成 29 年 4 月 富山短期大学

1. 目的

総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「保育と育児」、「情報と経営」、「福祉と介護」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ事柄を学習することによって、人間の生活を総合的に学び、幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。

2. 単位等

教養科目 選択 1 単位 (卒業要件単位に含むことができる。)

担当 樋口 康彦・高木 三郎

3. 実施方法

(1) 対象、履修申請締切

・全学科 1・2 年生履修希望学生、履修申請締切：4 月 10 日 (月) 正午まで

(履修希望生が多い場合は、抽選になる可能性がある。申請結果は、A館 1 階教務部・学務課掲示板にて 4/11 に周知する。)

・単位取得希望者を優先する。教室の収容人数に余裕がある場合のみ、興味のある講義のみの聴講も認める。

(2) 時期・教室

・4 月から 6 月第 2 週までの期間で、水曜日 5 限目 (16 時 30 分から 18 時) に A330 教室で 8 回開講する。

*教室は受講者数によって、変更する場合がある。

(3) 内容

・学長ならびに各学科教員・外部講師が担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。

(4) 評価方法

・受講態度 (40%程度)、レポート (35%程度)、感想文 (25%程度) で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。

4. 授業計画 現代を生きる一地域との関わりのなかでー

月日	担当教員	タイトル	内容
1 4/12	食物栄養学科 講師 山岸 博美	日本の食生活と学校給食の歴史	戦後、日本の食生活は大きく変化しました。さて、戦前からどのように変わったのでしょうか。また、日本の子供たちの健康な発育発達に学校給食は今も昔も大きな役割を担っています。戦後の食生活や学校給食をとおして現在そして未来の日本の食の在り方を皆さんと一緒に考えます。
2 4/19	(株)レストラン小西 代表 小西謙造	1969 年北陸初のフランス料理店を開業して	富山におけるフランス料理の発展史を中心に自然の幸に恵まれた富山の素晴らしさ、料理を作ることの喜び 料理人の幸せ 美しく楽しく西洋料理を食する秘訣 (西洋と日本の食文化の違いを分かりやすく説明しましょう)
3 4/26	経営情報学科 教授 亀澤 祐一	知的自由と図書館	図書館の社会的な意義を考えてみたい。表現の自由、思想・信条の自由を「知的自由」という。図書館は知的自由を尊重し、擁護することが基本的な役割である。しかし、図書館があれば具現化できるというものではない。
4 5/10	南砺市長 田中 幹夫	南砺のまちづくりから日本を考える	少子化、高齢化、人口減少という大きな課題に立ち向かうべく地域づくりから未来を考えたい。
5 5/17	高岡山瑞龍寺 住職 四津谷 道宏	瑞龍寺とは何か	国宝瑞龍寺の成り立ちから見えてくる前田家の立場や当時の文化経済政治 宗教歴史を学びながら、現代人が抱える問題解決のヒントを模索する。
6 5/24	福祉学科 教授 石橋 郁子	「ダブルケア」について考えてみよう	いま日本は、超高齢時代です。そして「ダブルケア」と言われる時代が近づいています。将来の自分の仕事、そして家族を支えていくために身近な課題として一緒に考えてみます。
7 5/31	幼児教育学科 教授 赤川 雅和	文学に見る子ども観	子ども子育て支援が叫ばれる中において、私たちは子どもをどうとらえ、どう子育てに関わって行くべきか。文学作品に描かれた子ども像や子どもたちへのまなざしを通して考えてみたい。
8 6/7	経営情報学科 教授 安達 哲夫	富山短大 54 年の歴史をたどる	昭和 38 (1963) 年、富山女子短期大学が開学しました。その設立趣意書に、「人間愛を基調にした高い知性、広い教養、そして健全にして豊かな個性と、社会性に富む調和のとれた全人的な婦人形成を建学の基本とする…」とあります。以来変わらず、豊かな人間性と実践知・実践力を備え、地域の発展に貢献する人材の育成を使命としています。

授業科目名	教育心理学			科目コード	T211-20				
科目区分	教職に関する科目 - 教職に関する科目		担当教員名	樋口 康彦					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校卒業程度の一般的知識		後継科目	教育相談					
関連科目	教師論、教育原理、教育課程総論								
資格等 取得との関連	栄養教諭二種免許に必須								
授業の概要	人間の学習のメカニズムや学習指導の理論、知的発達や人格発達、教育の評価、教師と子どもの関係などについて、広く学んでいく。また、基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	教育活動に携わる上で重要な、人間の心のしくみや働き、また、その発達のプロセスを理解する。そのために、教育心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。								
キーワード	心理学、子ども、学校								
テキスト・ 参考書等	特になし。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	(該当しない)								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70					30			100
LO-2									
LO-3									
備考	A (3 0) は、積極性などの授業態度で評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。教育心理とは何か。	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	発達を促す。	
	【予習】「発達」と「成長」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第3回	やる気を高める（その ①：動機づけ、欲求、フラストレーション）	
	【予習】「動機づけ」・「欲求」・「意欲」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第4回	やる気を高める（その ②：ごほうびの影響、原因帰属、無気力）	
	【予習】「無気力」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第5回	学習のメカニズムについて。さまざまな学習理論。	
	【予習】「記憶」・「洞察」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第6回	学習指導について。個人差と教育。	
	【予習】「学習」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第7回	教育評価について。	
	【予習】「評価」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第8回	知的能力の発達について。これまでの授業についての小テストを行う。	
	【予習】「知能」と「創造性」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第9回	パーソナリティの理解。	
	【予習】「パーソナリティ」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第10回	社会性を育む（その ③：道徳性の発達）	
	【予習】「道徳」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分

富山短期大学 ⑤-2

第11回	社会性を育む(その : 親子関係)	
	【予習】「愛着」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第12回	学級集団の構造と教師の影響について。学級集団と学習指導法。	
	【予習】「学級」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第13回	子どもの不応について。発達障害について。障害児における心身の発達および学習の過程。これまでの授業についての小テストを行う。	
	【予習】「不応」と「ストレス」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第14回	さまざまな障害児の理解と特別支援教育。視覚・聴覚障害児，知的障害児，肢体不自由児，言語障害児などについて詳しく見ていく。	
	【予習】障害児について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第15回	総まとめと、定期試験に向けての勉強のポイントの解説。	
	【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	420分
	【復習】これまでの授業を振り返り、章ごとに重要点をまとめる。	120分

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	石動 瑞代						
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	保育者論						
関連科目	保育課程論 保育内容総論 教育原理 児童社会								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史的変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。								
LO-2	【技能・表現】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考・判断】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4			10			5			15
LO-5						5			5
備考	その他Aは、受講態度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か ~保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第1章を読み、内容を理解する。	60分
第2回	保育とは何か ~養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】P11の内容をノートに書いておく。 テキスト第2章『現代社会と子どもの育ち』のp29まで読んでおく。	100分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第8章の関連部分を読み、内容を理解する。	80分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。	
	【予習】前回の講義中に提示されたテーマについて、自分の考えをまとめて、文章で表す。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 他者の意見を聞いて感じたことをまとめて、文章化する。	60分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。	
	【予習】 テキスト第7章を読み、内容をまとめる。	40分
	【復習】参考文献、資料等を読んで、子ども観・発達観・保育観についてまとめる。	120分
第5回	集団施設保育の意義と役割 保育所・幼稚園・認定こども園等の機能を理解し、その社会的役割を考える。	
	【予習】テキスト 第3章の制度と現状を読み、分かりにくい語句などを調べておく。	60分
	【復習】集団保育施設の制度等を整理してまとめる。 教科書第2章現代社会と子どもの育ちのp30~ を読んで、まとめる。	120分
第6回	保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読んでおく。	30分
	【復習】指針や要領等に書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。 教科書第8章『保育の基本』を読み、内容をまとめておく	30分
第7回	保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、章立てを理解する。 指針第3章、要領第2章、教育・保育要領第2章を読む。	40分
	【復習】講義内容をノートにまとめるとともに、指針・要領等の重要語句を覚える。 小テストにむけて、準備のための学習をする。	240分
第8回	保育の内容と方法 保育の内容と方法の関連を、具体的な事例を通して学ぶ。 小テスト実施	
	【予習】前回のノートや指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】小テストの結果を確認し、理解が不十分な点について、テキスト・ノート等で確認する。 教科書第10章『保育の方法と進め方』第11章『保育の計画と保育の質の向上』を読む。	50分
第9回	保育の歴史と思想 西欧の保育の歴史を学ぶ コメニウス-フレーベルの思想から	
	【予習】テキスト第5章『世界の保育の歴史に学ぼう』を読む。	40分
	【復習】コメニウス-フレーベルまでの主要な思想家の思想と著書等を整理してまとめる。	150分
第10回	保育の歴史と思想 西欧の保育の歴史を学ぶ モンテッソーリとシュタイナーの思想から	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】モンテッソーリ保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。 シュタイナー保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。	120分

富山短期大学 ⑤-3

第11回	保育の歴史と思想 日本における保育の歴史と思想	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第6章を読む。	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。	120分
第12回	保育の歴史と思想 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第4章『保育者に求められるもの - 資質と専門性 -』を読む。	40分
	【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。 小テストにむけて、これまでの学習内容を整理してまとめる。	240分
第13回	諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。 小テスト実施	
	【予習】テキスト第13章『海外の保育に目を向けてみよう』を読み、疑問や質問を文章化しておく。 インターネットで、諸外国の保育制度について調べる。	60分
	【復習】課題プリントを仕上げる（海外の取り組みから、日本の保育制度の課題を考え、レポート用紙に書く） 小テストの出題内容について、再確認しておく。	180分
第14回	家庭における保育 家庭における保育の実情を知る。家庭生活と子どもの発達との関連について考える。	
	【予習】テキスト12章『大切な保護者支援と地域連携』を読む。	40分
	【復習】テキスト、資料などの内容から保育所等における子育て支援の在り方について、レポートを作成する。	180分
第15回	現在の保育における課題 小学校との連携、保育の質の向上	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	40分
	【復習】これまでの講義内容のまとめ 定期試験のための準備学習	240分

授業科目名	児童家庭福祉			科目コード	C113-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉	担当教員名	宮田 徹						
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	社会的養護						
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「児童家庭福祉の意義と歴史」「児童家庭福祉の制度と実施体制」「児童家庭福祉の現状と課題」を柱として、児童家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング(幸せ)を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	テキスト：櫻井奈津子編『保育と児童家庭福祉』（みらい） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 児童家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能・表現】								
LO-3	【思考・判断】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング(幸せ)や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点(授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ <配布資料>	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 練習問題	60分
第2回	「児童と家庭・社会」(1)：児童と家庭を取り巻く現状 児童・家庭を取り巻く環境の変化 少子高齢化と「子育て」「子育て」 <当日スライド> <配布資料> <追加資料「子育てのいま・未来」>	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	「児童と家庭・社会」(2)：子育てのいま・未来 子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう> 追加資料：少子化社会対策大綱（平成27年3月20日閣議決定）-内閣府 概要（pdfファイル）	90分
第4回	「児童家庭福祉の意義と歴史」(1)：児童家庭福祉の理念 児童家庭福祉の理念 子どもの権利保障（児童の権利に関する条約・児童の最善の利益）	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	「児童家庭福祉の意義と歴史」(2)：児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉 <配布資料> <当日スライド>	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律 <配布資料> <スライド>	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行財政と実施機関 児童家庭福祉の行財政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設 <配布資料> <スライド>	
	【予習】児童家庭福祉行財政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行財政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(1)：子育て支援サービスと児童の健全育成 子育て支援サービス / 健全育成施策 <配布資料(レジュメ)> <配布資料「参考」> <スライド>	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(2)：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み <配布資料> <スライド>	
	【予習】母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(3)：保育サービス 保育所と待機児童 保育サービス <配布資料> <スライド> <参考：保育の質>	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト第8章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第8章<まとめてみよう> 参考：子ども・子育て支援新制度なるほどBOOK 子ども・子育て支援新制度：内閣府ホームページ	90分

富山短期大学 ⑤-4

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(4)：児童虐待とDV(ドメスティック・バイオレンス) 児童虐待 DV(ドメスティック・バイオレンス) <配布資料> <スライド> 児童虐待防止対策：厚生労働省ホームページ	
	【予習】児童虐待とDV(ドメスティック・バイオレンス)の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV(ドメスティック・バイオレンス)の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める/第9章<まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(5)：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後 <配布資料> <スライド1> <スライド2> 社会的養護：厚生労働省ホームページ	
	【予習】社会的養護の概要をテキスト第10章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める/第10章<まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(6)：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要 <配布資料> <参考配布>	
	【予習】ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める/第11章<まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(7)：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策 <配布資料> <参考配布> <スライド>	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める/第13章<まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」(8)：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行 <配布資料> <スライド>	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める/第13章<まとめてみよう>	90分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	山川 賀世子					
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育の心理学					
関連科目	教育心理学 臨床心理学、								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許・保育士免許								
授業の概要	人の心の発達について、乳幼児期を中心に広く学んでいく。発達心理学の基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「保育・教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	人の心、特に、保育の対象（乳幼児）となる子どもの心について理解する。そのために、乳幼児期に焦点をあてながら、発達心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。								
キーワード	発達心理学、乳幼児、保育								
テキスト・ 参考書等	毎回プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育現場で子どもに関わる際に必要となる、子どもの心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	発達を促す	
	【予習】「発達」と「成長」の意味を調べておく。子どもの発達を促すためには何が重要だと思うか、考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習し、授業内容を踏まえた上で、子どもの発達を促すために重要なことを自分なりにまとめる。	120分
第3回	乳幼児期のからだの発達（からだ）	
	【予習】乳児と幼児のからだの発達について調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第4回	乳幼児期のからだの発達（食事）	
	【予習】乳幼児期の食事の特徴について調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第5回	乳幼児期のからだの発達（排泄行動）	
	【予習】「排泄訓練」の意味を調べておく。自分の排泄訓練について、親に話を聞きまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第6回	乳幼児期・児童期の知的能力の発達	
	【予習】乳幼児期の知的能力の特徴について調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	120分
第7回	児童期の学校生活	
	【予習】園生活から小学校生活に変化することにより、子どもや親にどのような変化が生じると思うか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第8回	思春期・青年期	
	【予習】「思春期」・「青年期」・「アイデンティティ」の意味を調べた上で、思春期や青年期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第9回	成人期	
	【予習】「成人期」の意味を調べてた上で、この時期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分
第10回	高齢期	
	【予習】「高齢期」の意味を調べた上で、この時期の特徴はどのようなものであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。	120分

富山短期大学 ⑤-5

第11回	さまざまな発達理論	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	150分
第12回	障害（さまざまな障害）	
	【予習】「障害」の意味を調べる。子どもが抱える可能性のある障害には、どのようなものがあるか、調べておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	165分
第13回	障害（保育士の役割）	
	【予習】第12回で学んだことを踏まえ、保育の対象である子どもに障害が見られた時、保育者は子どもや保護者に対して何をなすべきであるか、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。	165分
第14回	家族の発達	
	【予習】特になし	0分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を行う。次回の質問時間に向けて、自分のわからない部分を整理する。	195分
第15回	総まとめ・最終テストに向けての質問	
	【予習】テスト範囲となるところを中心に、これまで学んだことをしっかりと理解しておく。	420分
	【復習】これまでの授業を振り返る。	120分

授業科目名	簿記演習			科目コード	M133-22				
科目区分	専門科目 - 会計科目 - 会計		担当教員名	加納 輝尚					
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	日商簿記3級合格者(レベル)対象。開講までに、貸出教材等で2級の内容に一通り触れていること。		後継科目	財務会計演習 原価計算演習 管理会計					
関連科目	財務会計、原価計算								
資格等 取得との関連	日商簿記検定2級, 上級ビジネス実務士(), 上級情報処理士() ウェブデザイン実務士(), ビジネス実務士(), 情報処理士()								
授業の概要	指定した問題集を用い、過去問演習(すべての範囲)を中心に実施します。併せてポイント解説を行い、本試験に備えます。								
学習目標	日商簿記検定2級の標準的な問題が解けるようになることを目的とします。								
キーワード	日商簿記検定2級、粘り強さ、時間とエネルギーの集中投下								
テキスト・ 参考書等	テキスト: 滝澤ななみ『簿記の教科書 日商2級 商業簿記』TAC出版、滝澤ななみ『簿記の教科書 日商2級 工業簿記』TAC出版、問題集:TAC『日商簿記2級 出題パターンでマスター 過去問題集』TAC出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】日商簿記2級レベルの基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。								
LO-2									
LO-3	【思考・判断力】日商簿記2級本試験レベルの各種設問に対処でき、正解までたどり着ける。								
LO-4	【関心・意欲・態度】能動的で積極的な学習態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4						20			20
LO-5									
備考	2級に絶対合格するぞ!という意気込みのある人が対象です。 2級合格のためには、それ相応の時間とエネルギーの投下、そしてねばり強さが必要です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【第一問対策】 5 株式の発行 6 社債 7 株式会社の税金 8 剰余金の配当と処分 9 特殊商品売買の「易」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第2回	【第一問対策】 4 有価証券 6 社債 7 株式会社の税金 9 特殊商品売買の「普通」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第3回	【第三問対策】 精算表の「普通」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第4回	【第四・五問対策】 1 勘定連絡・財務諸表 2 費目別計算の「標準」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第5回	【第二問対策】 2 特殊仕訳帳の「難」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第6回	【第三問対策】 財務諸表の「標準」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第7回	【第四・五問対策】 3 個別原価計算 4 総合原価計算の「標準」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第8回	【第二問対策】 3 個別論点の「難」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第9回	【第四・五問対策】 5 標準原価計算 6 直接原価計算の「標準」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第10回	【第二問対策】 1 伝票会計の「易」レベルの問題を解く。	
	【予習】 授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】 当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分

富山短期大学 ⑤-6

第11回	【第三問対策】 本支店会計の「標準」レベルの問題を解く。	
	【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第12回	【第四・五問対策】 1 勘定連絡・財務諸表 2 費目別計算の「易」レベルの問題を解く。	
	【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第13回	【第二問対策】 1 特殊仕訳帳の「易」レベルの問題を解く。	
	【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第14回	【第四・五問対策】 4 総合原価計算の「標準」レベルの問題を解く。	
	【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分
第15回	【第四・五問対策】 6 直接原価計算の「標準」レベルの問題を解く。	
	【予習】授業当日問題が解けるように、該当する論点を、事前配布教材もしくはテキストなどで確認しておく。	60分
	【復習】当日授業で解けなかった問題を、翌日もう一度解きなおす。場合によっては類似問題を解く。	90分

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W511-50				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	ボランティア・市民活動論、地域福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格(必修)								
授業の概要	テキストを毎回1章ごと進めていながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用し、前期末試験の最終日まで3回以上の活動を課します。								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	小倉常明他編 「いちばんはじめのボランティア」 樹村房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	障害者スポーツ大会での補助活動に、有意義に参加できる。								
LO-3	与えられた演習課題について積極的に取り組み、テーマに基づいた自分なりの解答を導きだすことができる。								
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5	前期でのボランティア活動体験3回以上を達成する。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		15	15		10	100
LO-1			30						30
LO-2					15				15
LO-3			30						30
LO-4						15			15
LO-5								10	10
備考	LO-1のレポートは、期末試験に替えて授業での学びを、所定の様式で提出してもらうものです。LO-2のレポートは、5月の障害者スポーツ大会での積極的な姿勢を見るものです。LO-3は、授業での演習への取り組みをはじめとする姿勢その他を評価するものです。LO-4は、課題として出す3回以上のボランティア体験への評価です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や関連用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	90分
第2回	ボランティア活動の歴史や近年の動きについて理解する。	
	【予習】テキスト第2章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】社会福祉協議会の広報紙や新聞などのボランティア情報、さらにはボランティア手帳で最近のボランティア活動の傾向を調べてみる。	90分
第3回	障害者スポーツ大会の事前研修	
	【予習】県総合運動公園について、各自で調べておく。	30分
	【復習】障害者スポーツの種類について、振り返りをしておく。	30分
第4回	富山県障害者スポーツ大会の運営補助スタッフとしての参加	
	【予習】障害者スポーツの種類についてネットで調べ、関心を高める。	90分
	【復習】参加しての感想をまとめる。	90分
第5回	富山県障害者スポーツ大会の運営補助スタッフとしての参加	
	【予習】事前研修で配布のあった資料を熟読し、当日の動きを把握しておく。	90分
	【復習】参加しての感想をまとめる。	90分
第6回	ボランティア活動の法と制度	
	【予習】NPO法やNPO団体の県内での状況について把握しておく。	90分
	【復習】富山県民ボランティア総合支援センターについて調べてみる。	90分
第7回	ボランティア推進機関の種類と役割	
	【予習】市町村の社協だよりに目を通してくる。	90分
	【復習】広報紙に書かれない内容を整理しておく。	90分
第8回	ボランティアの担い手について学ぶ。(ボランティアグループの登録の実際、収集ボランティアの概要など)	
	【予習】県内のNPO法人についてインターネットで調べてくる。	90分
	【復習】ボランティアを取り巻く制度や組織に対して理解を深める。	90分
第9回	ボランティア活動の担い手について理解する。(民生委員、福祉活動員など)	
	【予習】テキスト第5章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】地元や県の社会福祉協議会、さらには県民ボランティア総合支援センターのホームページで、どのような団体がどのような目的で活動しているかを把握する。	90分
第10回	福祉施設とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキスト第7章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】施設にボランティアに行った際には、どのような職員が担当し、どのような受入がなされ、ほかにどんな活動を受け入れているかなどをできるだけ見てくる。	90分

第11回	献血とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 Webボラ手帳の献血ルームのコミュニティを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 献血の意義を思い返し、ボランティアとしての意味づけを試みる。	90分
第12回	災害支援とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第9章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 東日本大震災や阪神淡路大震災など、これまでの災害救援ボランティア活動の様子を、本やインターネットで確認しておく。	90分
第13回	企業の地域貢献とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第10章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 インターネット検索で、どんな企業がどのような社会貢献活動に取り組んでいるかを各自で調べる。	90分
第14回	地域社会とボランティア活動の関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第6章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 地元の社会福祉協議会が取り組んでいる小地域福祉活動（ふれあいいきいきサロンほか）について、社協の広報誌やホームページで調べておく。	90分
第15回	ボランティアコーディネーターとボランティアの関わりについて理解する。	
	【予習】 テキスト第13章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】 日本ボランティアコーディネーター協会のホームページを参照し、ボランティアコーディネーターに求められることについて思いを深める。	90分